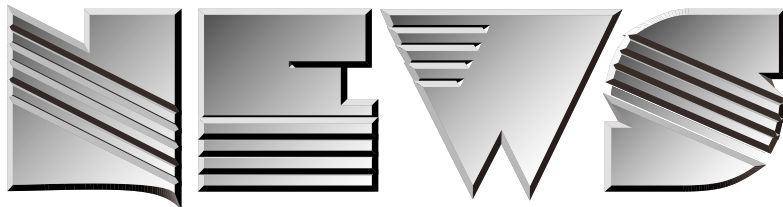




ねこだすけ  
ねこだすけ  
ねこだすけ



号外

vol.31

# 地域ねこ対策の行事計画が盛んです。



**飼い主のいない猫対策**セミナーin成城、平成24年11月10日開催。(1) 飼い主のいない猫の問題でお困りの方(2) 問題解決のために地域で活動に取り組んでみようと思う方(3) 地域での活動事例や成果について知りたい方、を対象に世田谷保健所が区内の地域猫対策チームSLP代表の田矢さん(上の写真)と協力し合って年間2回行っています。ねこだすけ代表工藤は展示パネルや配布用資料と共に参加しました。

野良猫被害・猫を助けたい・町の難問解決、三者三様の皆さまがそれぞれの立場で参加されました。

例えば「右メズ・左ひめ」とは...? 地域猫の目印として知られる、耳カット・Vカット・さくらカットを猫の雄と牝では左右のどちらにするか? ボランティアさんには普通のテーマでも、迷惑被害の方々には初めての話題でした。

難問解決には先ず手術!などの原則論や、猫迷惑側も猫擁護側もどちらも根深い被害者意識を持つものの、その内容の違いが近隣同志の行き違いのもとになっていること。解決策は意外と見つけやすいこと。内容の違いとは、餌をやるなど言い続けられる被害に対して、餌をやるから迷惑被害が続く、などという思いを原因にする対立が起こります。このような対立の解決を目指した、具体的な応答や個別相談が会場の現状復帰退出時間ぎりぎりまで行われました。

**東京・清瀬市でも**第二回「飼い主のいない猫対策セミナー」を開催。

清瀬市と共催の地域猫対策ボランティアグループ「きよせ猫耳の会(飼い主のいない猫を考える会)」のブログに詳しく紹介されています。(検索キーワード、きよせ猫耳の会)

こちらも世田谷と同じで「飼い主のいない猫でお困りの方」「飼い主のいない猫を世話している方」「地域猫に関心のある方」が対象で「個別相談会」もあり、副題は「地域活動のすすめ～」です。

11月17日、講師は練馬区保健所職員石森氏とねこだすけ工藤が担当。(下の写真)ここでも地域猫対策のパネルを展示しました。石森氏は練馬区で始めて「地域猫対策ボランティア制度(通称)」を立ち上げ、区の施策として作り上げた中心の職員です。

個人情報で恐縮ですが、同氏は東京近郊のご自宅の周辺に野良猫数頭が湧いて出てしまい、ねこだすけの工藤に相談したところ「練馬区のマニュアル通りの対策が有効」といわれ、今は丁度地域猫対策の実体験が終息に近付いている時期とのことでした。

講師として、施策に作り上げた「地域猫対策」についての講演はいつもと同じです。今回に限り更に「地域活動のすすめ」の実例として、ご本人が自宅近くで行うはめになってしまった、地域猫対策開始の手作りチラシや、猫のリサーチから手術の経費、お仲間などとの地域コミュニティ活性化状況などの報告資料もあり、今迄に無い内容のセミナーでした。

清瀬市とほぼ同じ人口の国立市でも、市民とボランティアと役所の三者協働地域猫対策やセミナーが行われていますが、人口が一桁も違う都心の区部に比べると、すごくフレンドリーな感じがします。

どこがどうフレンドリーなのか?一言で「市民も役所も仲が良い!」...のです。地域猫対策を進めるとき、役所にはできることもできないこともあります。時として市民は無理強いを役所に求めたくなるものですが、野良猫餌やりダイ迷惑の思いと、動物好きの思いが交わるなどのそのような際に、人数も多い大都会では時としてギクシャクした関係に陥りがちですが、ここではすごく穏やかな雰囲気が感じられました。



# お役所とエサの関係

以前に比べると、地域猫という言葉の浸透には目を見張るものがあります。

その一方で随所でいわれる「外で飼うな!」「猫好きなら家に連れ帰れ!」「エサやるな!」。

威圧的に反論すると根深い対立の構図になりますが、敢えて...『飼い主のいない猫なので、外で飼っている者もいない!』『この離脱有体物の、所有などの権利を与える権限は役所にも誰にも無い。』『恣意的なエサやりのあることを役所も認識の事実。エサをやれ!とも、やるな!とも役所はいえない。』...それでも「エサやるな!」はいつまでもなくなりません。

十数年も前になりますが、猫の擁護に特化した全国規模のボランティア網がありました。丁度その頃、インターネットを人々が利用し始めました。『インターネットという武器で、エサやりを公認に!』...

との目論みはもちろん敢え無くとん挫です。猫の習性生理生態を十分に理解して、

すごく適切な方法で野良猫の管理や譲渡を行っている。

...などと必死で全国に訴え続けましたが結果は「猫が好きなのね!でもエサやらないで!」...

「地域猫対策」が芽生えたのも少しのずれだけでこの頃ですが、以前との大きな

違いは「難問解決にあたるのは、単に猫好きだけの活動ではない。」という要素が取り入れられたことと思われれます。

今では地域猫対策について、市民も役人も「猫好きによる、猫のための擁護活動」などの概念を払い、「迷惑被害をなくして、人との共生を図る地域保全活動」などの意識が強くなっている様に感じられます。

そのような中でも強硬な「エサやるな!」が現れます。...と、「これは地域猫。役所の許可のあるエサやり。」...などとの応報の後には、極めて強い野良猫迷惑の抗議が役所に寄せられることは明らかです。

原則として役所は野良猫の擁護を施策にしませんから、人が猫を可愛がりたり町の中でまどろんだりしている情景などを、地域猫などとして広報することも控えているようです。インターネットで「猫の習性生理生態を十分に理解して、すごく適切な方法で野良猫を管理している。」ことの訴えが「エサやりの公認」につながらなかったように、猫に対してどんなに一生懸命に関わっているのか、その姿を訴え続けても、その他大勢の方々には「すごい猫好きね。」...、などの思いが続いてしまいます。

前回の号外30号の通り、改正動愛法第一条(目的)に「動物の健康及び安全の保持」「人と動物の共生する社会の実現を図る」と加えられました。野良猫の健康を守り人との共生を目指すことについて、これからのお役所のお手並み拝見、というところでしょうか。

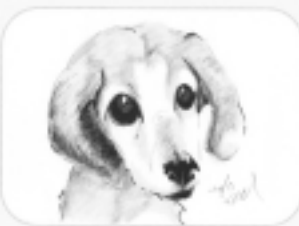


## 五井美沙作品集 余儀なき別れの後で

「(p1) はじめに」より抜粋... “被災地”と呼ばれる町に住む私達は、東日本大震災でそれぞれの『余儀なき別れ』を重ねました。アニマルクラブでも2頭の犬と1匹の猫、そして、仲間1人を失いました。...

2012年10月10日、NPO法人アニマルクラブ石巻代表阿部智子さん達が、五井さんの遺した形見を自费出版で上梓されました。(左の写真)

### 五井美沙作品集 余儀なき別れの後で...



NPO 法人 アニマルクラブ石巻

A4判 本文55頁 色刷  
定価1000円

「画集希望」として、下記にお申し込みください。

郵便振替口座  
02210-0-27343  
ゆうちょ銀行(9900)  
二二九店(229)  
当座 0027343  
トクヒ)アニマルクラブ  
イシノマキ  
¥1,000円 送料込

## 南の島の猫アイランド事業は、沖縄県石垣市で

初めての動物愛護事業とのことです。役所と動物愛護団体や市内外のボランティアさんなどが協力し合って、10月中に169匹の猫に不妊去勢手術をした上で、手術に満たない仔猫の譲渡を計画しています。

ねこだすけの捕獲器を少し貸し出しましたので、ご丁寧な御礼状を中山石垣市長と、石垣島しっぽの会早川代表の連名で頂戴しました。(右の写真)



## 地域ねこ対策 行事計画

- ねこだすけがお手伝いや参加させていただく行事
- 12月1日(土) 新宿区・第12回にゃんにゃんセミナー  
主催・協働:新宿区保健所・ねこだすけ
- 12月8日(土) 三鷹市・第2回地域猫セミナー  
主催:みたか123
- 2013年 平成25年  
2月中旬頃 所沢市・地域猫セミナー(仮称・予定)
- 2月下旬頃 愛媛県松山市・地域猫セミナー(仮称・予定)

その他、詳しくは... [ねこだすけ 行事](#) [検索](#)